

2019年10月21日  
日本貨物鉄道株式会社

## 台風19号の影響に伴う代行輸送の実施について (10月21日12時現在)

10月12日に上陸した台風19号の影響により、現在も一部の区間において貨物列車の運転ができない状況となっています。弊社では、不通となっている東北線区間の代替として、日本海縦貫線を経由した迂回輸送、トラックおよび船舶による代行輸送を実施しております。現在の貨物列車の代行輸送区間並びに不通区間は下記のとおりですが、今後もJR旅客会社や利用運送事業者等と連携し、可能な限り逐次輸送力を拡充していくとともに、運転再開の準備を進めてまいります(下線部が前回ニュースリリース(10月18日9時現在)から更新した情報となります)。

### 1. 現在の運転中止区間(別紙1をご参照)

以下の複数区間で運転を見合わせています。

- ・中央線 高尾～相模湖間(10月末頃運転再開見込み)
- ・東北線 新白河～郡山夕間(運転再開まで2週間程度の見込み)  
郡山夕～岩沼間(運転再開まで1週間程度の見込み)
- ・武蔵野線 梶ヶ谷夕～府中本町間(10/20 運転再開)

武蔵野線復旧により、東海道線方面と北関東・上越線方面等を結ぶコンテナ列車の運転(9往復)が再開します。

※運転再開については、設備を所有しているJR旅客会社の復旧作業の状況を勘案し検討を行ってまいります。

※東北線の運転再開はJR東日本仙台支社プレス(10月18日付)によります。

※「夕」は「貨物ターミナル駅」の略。

### 2. 迂回輸送の実施について(別紙2をご参照)

(1) 区間: 隅田川～札幌夕(10/24より1往復増強します)

開始日・輸送力: 10/15～ 20両編成 1往復/日

→10/24～ 20両編成 プラス1往復/日

(2) 区間: 名古屋夕～札幌夕間

開始日・輸送力: 10/15～ 20両編成 1往復/日

### 3. 代行輸送の実施について(別紙2をご参照)

(1) トラックによる代行

区間: 宇都宮夕～仙台夕間(順次輸送力を増強します)

開始日・輸送力: 10/17～ 最大114個/日

→順次増強し10/23～ 最大200個/日に増強

これに合わせて、宇都宮夕、仙台夕への折り返し列車も1往復ずつ増強します

区間: 大阪夕・安治川口・名古屋夕～宇都宮夕、仙台夕～札幌夕間

開始日: 大阪夕・安治川口・名古屋夕～宇都宮夕は10/21～、仙台夕～札幌夕間は10/23～

(2) 船舶による代行 (釧路貨物(港)または苫小牧(港) → 東京(港)、東京(港) → 苫小牧(港)として運航します)

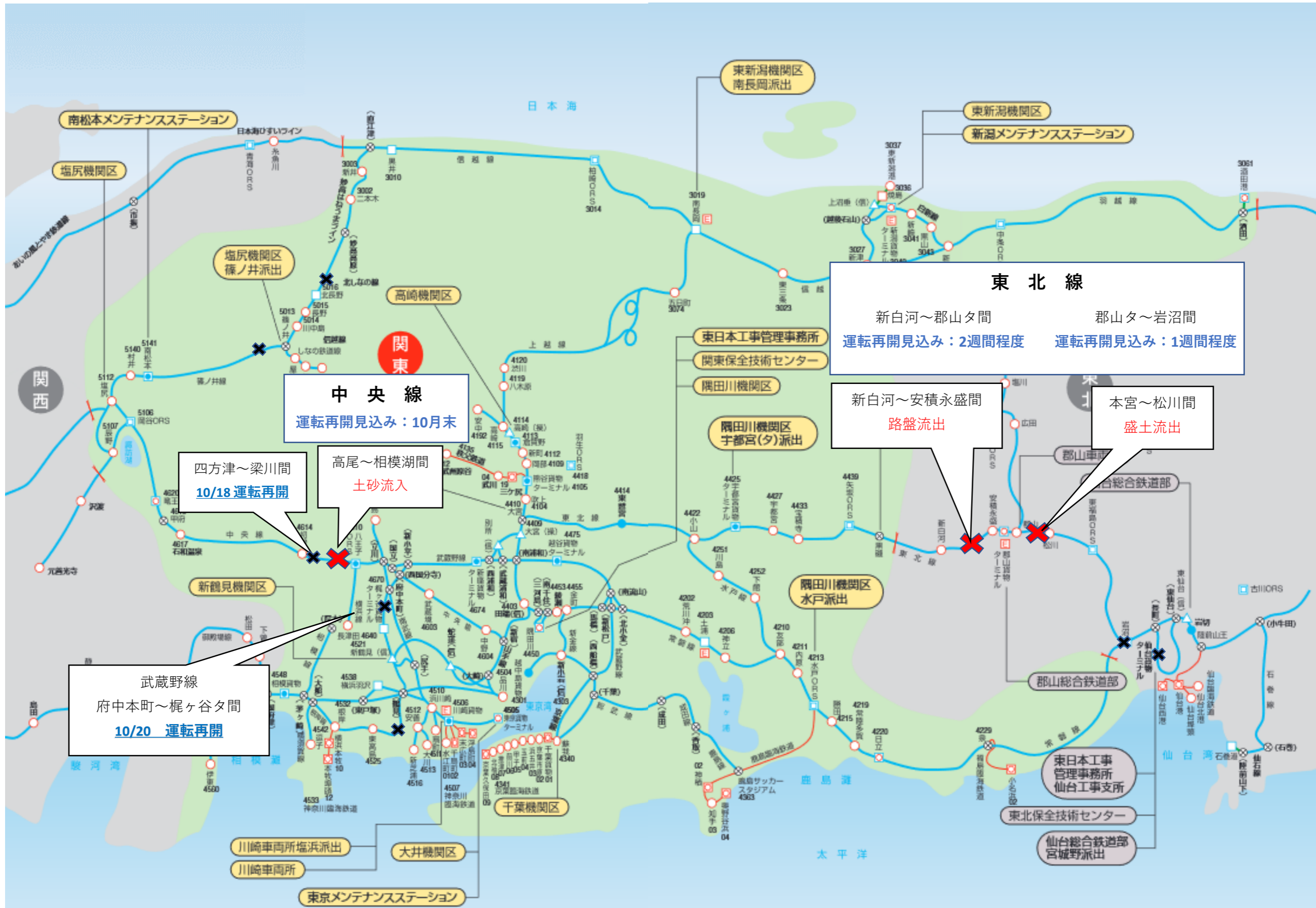
区 間：東京タ～釧路貨物または苫小牧貨物間  
(東京港～釧路港または苫小牧港間 船舶)

開始日・輸送力：釧路港発 10/18～(10/18・10/22・10/25)

苫小牧港発 10/23～(10/23・10/25・10/26)

東京港発(いずれも苫小牧港着) 10/23～(10/23・10/25・10/26)

いずれも 30 個／回



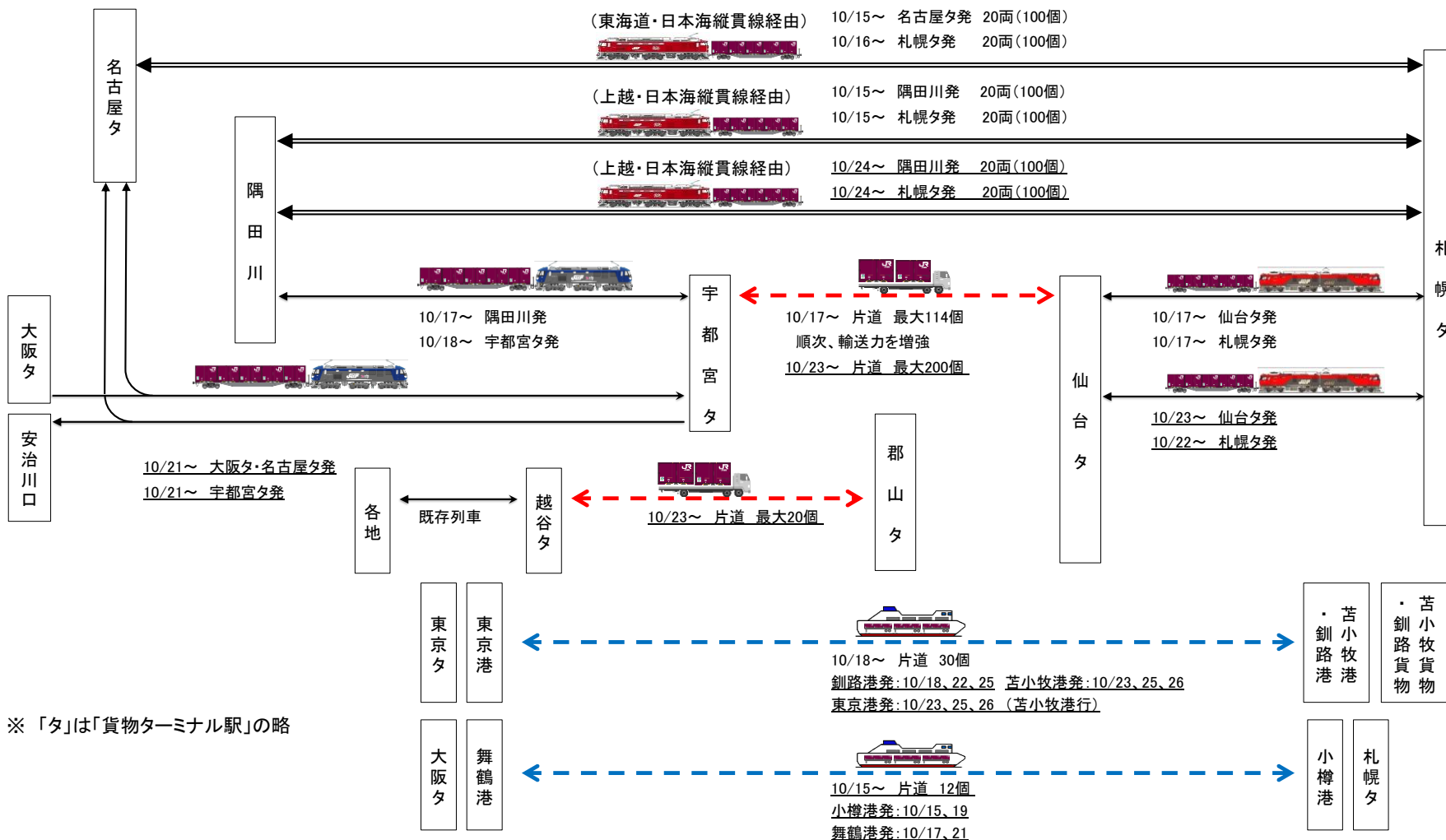
※下線部が、ニュースリリース（10月18日9時現在）から更新した情報となります。  
 ※東北線の運転再開はJR東日本仙台支社プレス（10月18日付）によります。

# 台風19号の影響による代行輸送・迂回運転 (2019年10月21日現在)

別紙2

【凡例】  
 折返し運転  
 回列車運転  
 トラック代行  
 船舶代行

※下線部が、ニュースリリース(10月18日9時現在)から更新した情報となります。



※ 「タ」は「貨物ターミナル駅」の略